

TC 通信

No 108 2022年11月号

- ◆ティーンズ世代=10代のための読書情報誌です。
- ◆ご紹介する本は特に記載がない限り、図書館3階ティーンズコーナー所蔵です。



ティーンズコーナーに新しく入った本からピックアップ。



『なりたい自分との出会い方 世界に飛び出したボクが伝えたいこと』

岡本 啓史/著 岩波書店 15/ナ/22

料理人、教師、舞台役者やダンサーを経て、今は国連難民高等弁務官事務所という国際機関で働いているという、様々な職業を経験した著者による“なりたい自分”になるためのアドバイス本です。

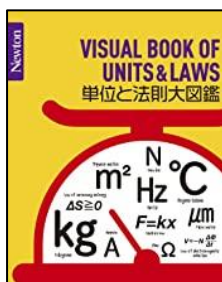
中学時代の大半は「落ちこぼれ」「根性なし」と呼ばれる日々だった著者が、どのようにしてなりたい自分になっていったのか、なぜ国際支援の道に進もうと思ったのかなど自身の体験をもとに書いています。今なりたいものが決まっていなくても・いなくても、成功と失敗を繰り返していくうちになりたい自分にきっと出会えるよと背中を押してくれる一冊です。

キャリア教育や人生のレールのお話、国際支援で関わった国での体験や感じたことなども載っていてとても勉強になりました。

ぜひ10代みんなに読んでほしい！おススメです☆



極め道



『単位と法則大図鑑』

和田 純夫/監修 ニュートンプレス 420/タ/21 4階一般

なぜか理数系があまり得意ではない私の目に留まった本が、今回ご紹介する“単位”の本です。重さや速さなど、さまざまな単位を紹介するとともに、その歴史も紹介されています。

私たちのまわりのあらゆる出来事は、法則に則っているのですが、その法則もわかりやすく書かれています。

1トンはワイン1樽の重さ、1エーカー（面積単位）は2頭の牛が1日に耕す面積なんですよ！みなさんは一寸法師の身長は何センチかわかりますか？なんか興味がわいてくるでしょ？わかりやすいビジュアルのこの本で、単位や法則を極めてみてください！！

テーマ 音

私たちの暮らしの中には、音が常にあります。音には、心地よいもの、そうでないもの様々です。日常の音から何かを感じ取ってみませんか。

『ソノリティ はじまりのうた』

佐藤 いつ子/著 KADOKAWA 913/カト/22

吹奏楽部に入部したときも自分がやりたい楽器を選ばず、合唱コンクールでは指揮者に選ばれてしまった内気な中学生・早希。そんな彼女から始まる青春小説です。

1章ごとに主人公が変わり、その視点で書かれているので、普段見ることのない他者の心の内を覗いているようで面白いです。早希のように内気な子もいれば、何に対しても熱くなれない子、リーダー的存在の子などが登場します。みんな何かしらの悩みを抱えていますが、コンクールに向けて一致団結していく、そんなキラキラした姿が書かれています。自分の中学校時代を思い出しながらかきました。こんなキラキラした感じではなかったので校舎だけ思い浮かべて読みました(笑)。モヤモヤした感情も描かれているのに、表紙のイラストと同じようにとっても爽やかな一冊です。



『鳥はなぜ鳴く？ホーホケキョの科学』

松田 道生/著 中村 文/絵 理論社 488.9/ト/19

ウグイスってどんな時に「ホーホケキョ」と鳴くかわかりますか？実は状況や鳴き方で意味が変わってくるんです。この本はウグイスの「鳴き声」を科学的にとらえて、いろいろな視点から解説されています。

鳥の生態を描いている中村文さんの4コママンガが、なんともほほえましく心がほっこりします。鳥への愛情が感じられる1冊です。

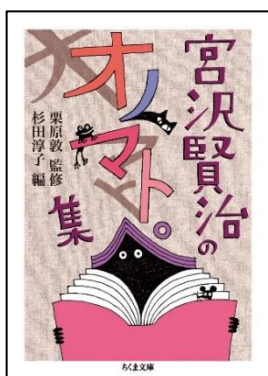
今回ご紹介した本は、理論社の“世界をカエル(10代からの羅針盤)”シリーズの中の1冊です。ティーンズコーナーにはこの本以外にも、「スカートははかなきゃだめですか」「人はだまされるーフェイクニュースを見分けるには」など、このシリーズの本が何冊もあります。ぜひそちらもチェックして読んでみてくださいね！



『宮沢賢治のオノマトペ集』

宮沢 賢治/著 栗原 敦/監修 杉田 淳子/編 筑摩書房 910.26/ミ/14 4階文庫

「銀河鉄道の夜」「雨二モマケズ」などの童話・詩で知られる宮沢賢治は、オノマトペの名人でもありました。「プイプイ」は蛙が泳ぐ場面、「ぶるぶるぶるぶる」は蟻が走ってくる様子、「キシリキシリ」は雪を踏む音。独特なオノマトペの使い方ですが、妙に納得してしまいます。このほか「ツアラツラン」「どってこどってこ」など独自の擬音で、いきいきと物語や詩を彩っています。そんな賢治童話の中から、選りすぐりのオノマトペを集めたこちらの本は、水・光・風などテーマごとに分類し、音を手書き文字で表現し、解説しています。宮沢賢治の物語を新たな視点で楽しむきっかけになりそうな本です。

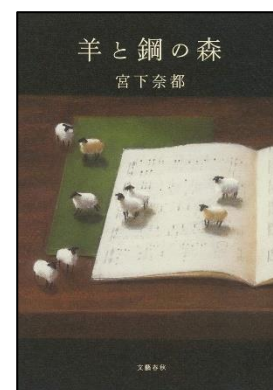


『羊と鋼の森』宮下 奈都/著 文藝春秋 F/ミヤ/15 4階一般

鍵盤を叩くとトーンと音が鳴る。フェルトでできたハンマーが一本の弦を震わせる音。高校の体育館でピアノの調律をする場に居合わせた青年は、その一瞬で生まれ育った北海道の森を感じ、魅せられ、調律師になりたいと強く思う。

やがて調律師として身を立てる。地道にコツコツと努力を惜しまない姿、悩みながらも自分に正直に生きる姿が淡々と描かれている。一つのことにも真摯に向き合う姿は美しいと感じずにはいられない。

ストーリー自体はさほど起伏はないけれど、様々な情景や音楽が浮かんで来て、心が静かに熱くなる。登場人物一人ひとりの奏でる個性の違ひも楽しめると同時に、調律の奥深さも垣間見ることができる。さあ、羊と鋼の森へようこそ！



ボランティアさんのオススメ本 (アリスの会)



『お探し物は図書室まで』

青山 美智子/著 ポプラ社 F/アオ/20 4階一般

司書の小町さんは、レファレンスの時「どの本をお探し？」ではなく、「何をお探し？」と聞いてくる。選書の後「あなたには、これね。」と言って、自作の羊毛フェルトを渡される。「本の付録」とつけたして。小町さんは、選書のために話を聞くが、不愛想でけっして優しいとはいえない。

この本は連作短編集になっていて、それぞれの問題を抱えた主人公たちが、首をかしげながら受け取り、糸口を見つけ出し、ほどけた先でほほ笑むのだ。

あ、なんと！表紙！こんなにつばな物を渡されたとは思えないけど。

図書館員 I の本棚

誰も持っている文房具。毎日使うものだから、こだわりがある方も多いのでは？というわけで、文房具に関する本を集めてみました。①身近な文房具を楽しくかわいく活かす使い方を紹介した本。②ちょっと背伸びして万年筆のインクの事典。③④文房具の名品や豆知識を紹介した本。⑤文具店を営む代書屋の女性の物語。小さいけれどギミックがつまみこまれている文房具。もしかしたら新たな相棒が見つかるかも！？

①『かわいい mizutama 文房具。』

mizutama/著
G. B.
750/カ/16
4階一般



②『美しい万年筆のインク事典』

武田 健/著
グラフィック社
589.7/ウ/20
3階実用



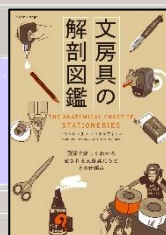
③『ときめく文房具図鑑』

山崎 真由子/文
今野 光/写真
山と溪谷社
589.7/ト/17
3階実用



④『文房具の解剖図鑑』

ヨシムラ マリ、
トヨオカ アキヒコ/著
エクスナレッジ
589.7/フ/18
3階実用



⑤『ツバキ文具店』

小川 糸/著
幻冬舎
F/オカ/16
4階一般



大人の お 押しコレ



お ぼん
大人の推し本
コレクション



『日本のアニメーションを築いた人々』

叶 精二/著 岩草書房 778.7/ニ/04

世界的にも評価を受けている日本のアニメーション。このアニメを黎明期から支えてきた6人が紹介されています。

それぞれのアニメーターの人柄と活動、手がけた作品をとおして、日本のアニメの発展にどのように関わってきたのかが紹介されています。紹介の中で出てくるアニメ作品には、皆さんが見たことがあるもののほか、お父さんやお母さん、おじいさん、おばあさんが子どものころ見た作品も出てきますので、どんな内容だったか聞いてみると面白いかもしれません。



名作 たからばこ



『日本語を味わう名詩入門16 茨木のり子』

茨木 のりこ/著 萩原 昌好/編 藤本 将/画

あすなる書房 911/アス/13-16 3階児童

本書は編者が厳選した詩にそれぞれ詳細な注釈をつけた「日本語を味わう名詩入門」シリーズの一冊である。詩人茨木のり子。没後16年たつ今も世代を越えて人々を魅了している。何ものにも依りかからず、個として強く生きた彼女の言葉が、閉塞して先の見通せない現代人の心の支えになっているという。

戦争中の若い女性の心を描いた「わたしが一番きれいだったとき」は多くの国語教科書に掲載されている。また「自分の感受性くらい」「依りかからず」など有名である。どの作品も彼女の強い意志が感じられる表現で、静かで深い思索や己に対する厳しさ、凜とした美しさが秘められている。

それぞれの詩に添えられた画家藤本将氏のイラストも素敵。それぞれの詩のイメージにピッタリで、詩の世界を大きく膨らませてくれる。お気に入りの詩を見つけてみてね。

ティーンズコーナーで待っています！

ティーンズコーナーは、中高生（ティーンズ）世代向けに、さまざまなジャンルの本を集めたコーナーです。図書館3階の北側自動ドアから入り、まっすぐ進んだ先の左側の本棚にあります。看板が目印！

悩み解決のヒントになる本、知識を深める本、趣味を広げる本など、児童書よりもステップアップした内容のものや、10代の皆さんにおすすめの読み物を用意しています。

「〇〇について調べたい！」
「△△の本はどこ？」など、
本に関する相談や探し物は
職員に気軽に聞いてみてね。



発行：春日井市図書館

愛知県春日井市鳥居松町5-44 TEL(0568)85-6800

<http://www.kasugai-lib.jp/>

※表紙画像の掲載にあたっては出版社から許諾を得ています。